



File.1

ところざわ、学校現場へ!

学校の現場を知るために、
北野小学校5年生の
外国語活動の授業に来たよ!
英語が流暢な人がいるけど、
担任の先生ではなさそう?



知らなかった!

市独自で教職員を雇って、子どもたちを手厚くサポート!

市独自採用の教職員が270人!

学校の教職員は、主に県が採用していますが、それに加えて所沢市は270人の教職員を独自に採用しています。子どもたちを支える人材への予算額は約4億円で、県内トップクラスです。

独自採用の教職員は、職種に応じてサポート内容もさまざま。学力ケアから心のケアまで、幅広く子どもたちを支援しています。このように、手厚い人的支援をすることで、子どもたち一人一人をきめ細かく見ることができるのです。

【独自採用の教職員】 学力向上支援講師、学習支援員、小・中連携支援員、学校司書、小学校外国語支援員、英語指導助手 (AET)、特別支援教育支援員、心のふれあい相談員、心身障害児介助員など

教職員だけでなく、地域全体で子どもたちを支えている!

学校の教職員の他にも、学校応援団という教育活動を支える地域ボランティアの方や、学校評議員という学校運営を評価する方など、地域の方々の活動によって子どもたちは支えられています。

子どもたちも実感! 教職員が多いメリット

子どもたちの声

- ・授業中に分からないことがあっても、先生が1人じゃないから質問しやすい!
- ・悩んでいるとき、相談できる人が増えた!

etc...

子どもたちの周りに
教職員がたくさん
いれお安心だね!

